

## 地域公共交通確保維持改善事業にかかる評価について

### 1 目的

地域公共交通確保維持改善事業費補助金交付要綱及び地域公共交通確保維持改善事業実施要領に基づき、協議会自らによる当該年度補助対象事業の実施状況の確認と評価を行い、当該自己評価の結果を報告するとともに、あわせて公表を行うものです。

### 2 対象事業名

地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

⇒評価対象年度：令和3年度（R2.10～R3.9）

バリアフリー化設備等整備事業

⇒評価対象年度：令和2年度（R2.4～R3.3）

### 3 事業評価シート（北陸信越運輸局提出資料）

別添（案）のとおり

### 4 評価基準

#### (1) 事業実施の適切性

生活交通確保維持改善計画及び事業計画に基づく事業が適切に実施されたかを、A, B, Cの3段階で評価する。計画どおり実施されなかった場合には、理由等を明らかにする。

A：事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された

B：事業が計画に位置づけられたとおりに実施されていない点があった

C：事業が計画に位置づけられたとおりに実施されなかった。

#### (2) 目標・効果達成状況

生活交通確保維持改善計画及び事業計画に位置付けられた定量的な目標・効果が達成された（達成できる見込み）かを、設定した目標ごとにA, B, Cの3段階で評価する。目標・効果が達成できなかった（達成できない見込み）場合には、理由を分析の上明らかにする。

A：事業が計画に位置づけられた目標を達成した（する見込み）

B：事業が計画に位置づけられた目標を達成できていない点があった（一部達成できない見込み）

C：事業が計画に位置づけられた目標を達成できなかった（達成できない見込み）

### 5 その他

当協議会で承認後、「地域公共交通確保維持改善事業・事業評価」を作成し、北陸信越運輸局へ提出するとともに、市ホームページで速やかに公表します。

# 地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)(案)

令和3年 月 日

協議会名: 村上市地域公共交通活性化協議会  
 評価対象事業名: 地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
新潟交通観光バス(株)	村上市まちなか循環バス(小回り循環)	利用促進に向けたPR活動として、時刻表の配布を継続して行った。 また、村上総合病院の移転に伴い、運行ルートの変更を実施し、利用者の利便性向上に努めた。	A 事業が計画に位置付けられたとおり、適切に実施された。	B 1日当たりの平均利用者数を目標値として設定。新型コロナウイルス感染症等の影響により、計画に位置付けられた目標を達成することができなかった。 計画に位置付けられた目標が45人/日に対して、実績が37人/日であった。	地域公共交通計画の施策に沿って、利用促進に向けたPR活動を行うと共に、利用者のニーズ調査、ダイヤの見直しやバス停留所の整備等、利用者の利便性向上を図り、利用者の増加を目指した見直しを進める。
	村上市まちなか循環バス(大回り～小回り循環)				
	村上～馬下～寒川線	沿線住民への市報・チラシ等の配布により利用を呼びかけました。また、学割半額制度の周知を行い、利用促進を図った。 さらに、村上総合病院の移転に伴い、運行ルートの変更を実施し、利用者の利便性向上に努めた。	A 事業が計画に位置付けられたとおり、適切に実施された。	B 1日当たりの平均利用者数を目標値として設定。新型コロナウイルス感染症等の影響により、計画に位置付けられた目標を達成することができなかった。 計画に位置付けられた目標が15人/日に対して、実績が12人/日であった。	引き続き、市報・HP等による利用の呼びかけと、学割半額制度の周知を行い、利用促進を図る。
	村上市せなみ巡回バス	利用促進に向けたPR活動として、時刻表の配布を継続して行った。 また、村上総合病院の移転に伴い、運行ルートの変更を実施し、利用者の利便性向上に努めた。	A 事業が計画に位置付けられたとおり、適切に実施された。	B 1日当たりの平均利用者数を目標値として設定。新型コロナウイルス感染症等の影響により、計画に位置付けられた目標を達成することができなかった。 計画に位置付けられた目標が22人/日に対して、実績が17人/日であった。	地域公共交通計画の施策に沿って、利用促進に向けたPR活動を行うと共に、利用者のニーズ調査、ダイヤの見直しやバス停留所の整備等、利用者の利便性向上を図り、利用者の増加を目指した見直しを進める。
	村上～塩野町～北中線	沿線住民に市報・チラシ等の配布により路線バスの利用を呼びかけました。また、学割半額制度の周知を行い、利用促進を図りました。 さらに、村上総合病院の移転に伴い、運行ルートの変更を実施し、利用者の利便性向上に努めました。	A 事業が計画に位置付けられたとおり、適切に実施された。	B 1日当たりの平均利用者数を目標値として設定。新型コロナウイルス感染症等の影響により、計画に位置付けられた目標を達成することができなかった。 計画に位置付けられた目標が36人/日に対して、実績が28人/日であった。	引き続き、市報・HP等による利用の呼びかけと、学割半額制度の周知を行い、利用促進を図る。

## 地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)(案)

令和 年 月 日

協議会名: 村上市地域公共交通活性化協議会

評価対象事業名: バリアフリー化設備等整備事業

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点 (特記事項を含む)
株式会社 慎鍋	福祉タクシー(リフト付き)の導入	-	A 事業が計画に位置付けられたとおり、適切に実施された。	A 事業が計画に位置付けられた目標を達成した。 また、要介護者及び高齢者等の外出機会の増加については、導入前と比較して運行回数も5.5%増加した。	事業は本年度で完了しましたが、引き続き福祉タクシーの活用を推進していきたい。